

粉粒体の混合・分散のメカニズムと実用技術 およびトラブル対策

◆日時：2016年11月30日(水) 10:00~16:30 ◆受講料：(消費税等込) 1名:48,600円
◆会場：連合会館(旧総評会館)402号室 同一セミナー同時複数人数申込の場合 1名:43,200円
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

混合・分散のメカニズムからプロセス最適化，高度な混合・分散の基礎から応用，実用技術，トラブル対策について 事例を交えて分かり易く解説する特別セミナー !!

【講師の言葉】

粉粒体材料の混合・分散操作は様々な産業分野で古くから行われており、製品の特性や品質を左右する極めて重要な単位操作です。したがって、取り扱う粉粒体材料の諸特性を十分に把握した上で、装置の選定や最適条件下での運転など、プロセスの最適化が必要不可欠ですが、これらは今なお現場での経験や試行錯誤に基づいて行われているのが現状です。

また、現在はより高度な機能をもつ粉粒体材料が必要とされており、従来とは異なる新しい考え方に基づいた粒子設計が重要となっています。

本セミナーでは、混合・分散のメカニズムからプロセスの最適化の考え方、さらには高度な混合・分散状態を実現する手法など、粉粒体の混合・分散の基礎から応用と実用的な技術まで具体的な事例を交えて平易に解説します。

- 【予備知識】** 特別な予備知識は必要ありません
- 【習得知識】** 粉粒体の混合・分散操作の基礎と応用に関する知識
- 1) 混合メカニズム
 - 2) 統計処理による混合・分散の評価法
 - 3) 混合プロセスの最適化
 - 4) 混合・分散のトラブルとその対策
 - 5) 精密微細混合および複合化による機能性材料の設計

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の7日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の7日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いいたします。

●申込先


(株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210
TEL:03-6435-1138
FAX:03-6435-3685
E-mail:th@thplan.com

TH企画 → 1130 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>

◆ プログラム ◆

【講師】 大阪府立大学 工学研究科 物質・化学系専攻
化学工学分野 准教授 博士(工学) 岩崎 智宏先生

- | | |
|--|---|
| <p>1. 粉粒体の混合・分散操作の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 粉粒体の混合・分散操作の目的 1.2 従来と現在の混合・分散操作の考え方 1.3 粒子径による粉粒体の分類 1.4 物質を粉体とするメリット <p>2. 混合・分散のメカニズム</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.1 混合・分散の定義 2.2 成分の均質化と精査のスケール 2.3 均質化の評価に対する考え方 2.4 完全不規則混合物と規則混合物 2.5 混合のメカニズム(1)対流(移動)混合 2.6 混合のメカニズム(2)せん断混合 2.7 混合のメカニズム(3)拡散混合 <p>3. 混合・分散状態の計測と評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 3.1 混合度(ばらつき)の定量的な表現法 3.2 分散の求め方 3.3 ばらつきの推移のシミュレーション 3.4 混合速度 3.5 混合度の導入 3.6 サンプルサイズとサンプル数 3.7 変動係数 3.8 サンプルング方法 | <p>4. 混合プロセスの最適化</p> <ol style="list-style-type: none"> 4.1 目的に合致した混合機の選定 4.2 各種混合機の特徴 4.3 粉体に作用させる外力に基づく装置の選定 4.4 各種混合機の混合曲線とエネルギー特性曲線 4.5 混合機の操作条件の最適化 4.6 各種混合機のスケールアップ <p>5. 混合・分散操作におけるトラブルとその対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 5.1 混合・分散の不良 5.2 粒子設計と混合条件による改善 5.3 付着性を考慮した対策 5.4 偏析防止 5.5 均質化するためのポイント <p>6. 粉砕機の活用と精密微細混合</p> <ol style="list-style-type: none"> 6.1 精密微細混合とは 6.2 粉砕とメカノケミカル効果 6.3 粒子複合化による精密微細混合の実例 |
|--|---|

●申込書・2016年11月30日(水)「粉粒体の混合・分散のメカニズムと実用技術およびトラブル対策」

会社名	〒	住所	
TEL		FAX	
正式所属		正式所属	
受講者名		受講者名	
E-mail		E-mail	
振り込み予定		通信欄	